



取扱説明書

**GUITAR
AMPLIFIER**

F100-112S

●ごあいさつ

このたびは、YAMAHAギターアンプF100-112Sをお買い上げいただきましてありがとうございました。

F100-112Sはギタリストの要求する多様なサウンドに応じて豊富なコントロール機能を備え、特にパラメトリックイコライザーの採用によってきめ細かい音づくりを可能にしたエキサイティングで、パワフルなギターアンプです。

●音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりするのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

●プロフィール

ヤマハギターアンプF100-112Sは2系列の入力部A、Bを持ち、プッシュスイッチ（またはフットスイッチ）によりA、Bのいずれかを選択することができます。A系列はノーマルな入力でクリアーなサウンドを。B系列はGAIN、MASTER VOLUMEの組み合わせにより、ディストーション（オーバードライブ）サウンド効果が得られます。

音色のコントロールとして、BASS、MIDDLE、TREBLEを独立して調整できるほか、PULL FAT*、PULL BRIGHTスイッチを設けて瞬時に中音域、または高音域の音色を強調できる機能を備えたライブパフォーマンスの優れた構成となっています。

更にパラメトリックイコライザー*を採用。従来のトーンコントロールでは得ることのできない、きめの細かいサウンド創りを可能としています。

出力端子は3つあり、30cm大口径内蔵スピーカーをドライブするほか、EXT端子を設け、外部スピーカーを独立して（または内蔵スピーカーと同時に）ドライブすることもできます。またDIRECT OUT端子によりテープレコーダーやミキサーなどヘラインレベルの信号を送り出すことが可能です。

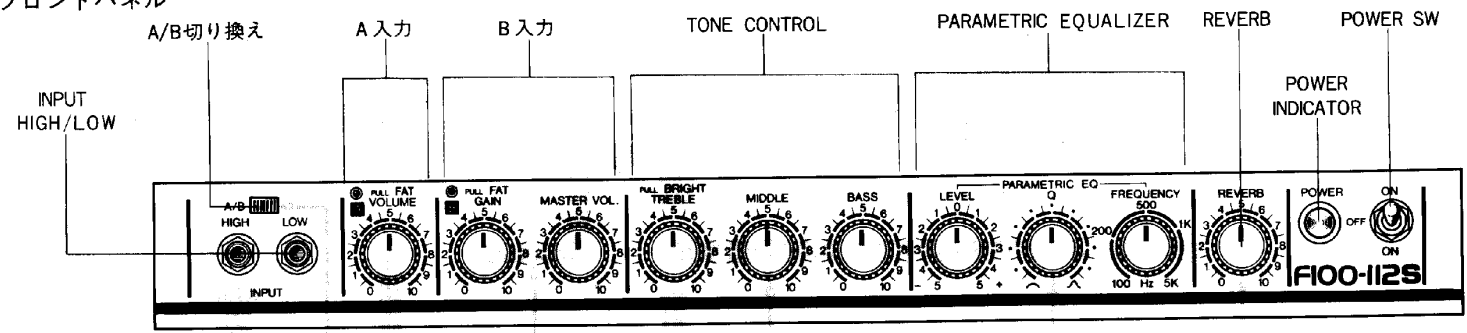
*PULL FAT…ギターアンプの周波数特性は低域、高域を特に強調しています。これはコード演奏の時など、分離の良いサウンドを作る為ですが、メロディパートなど単音演奏の時は音がやせて聞こえる結果にもなります。そこで、このPULL FATつまみを手前に引くことにより、中域特性を強調、メロディパートなどに偉力を発揮します。

*パラメトリックイコライザー…従来のトーンコントロールでは表現できなかった、特定の音域を強調したサウンドや、ノイズの低減など大胆な音色創造から、演奏会場での残響やハウリング等の音場補正まで、幅広いコントロールを可能にしたのがパラメトリックイコライザーです。このイコライザーにより、プレイヤーの感覚、主張をフルに表現できます。

●コントロールパネル

●ジャックに入力された信号は矢印のような大きな流れに分れ、音色をコントロールされて出力されます。

■フロントパネル



電気ギター

音色コントロール

残響

A/B入力系列の切り換え

B系列入力(ディストーションサウンド)の信号

パラメトリックイコライザー

A系列入力(ノーマル入力)の信号

POWER SW (パワースイッチ)

このパワースイッチは、センターがOFFになっています。上あるいは下にするとONになります。これはAC電源の位相を切り換えられるようになっているため、電源を入れ、インプットに何も接続しないときのスピーカーから出る、ハムやノイズが少ない側のONを使用してください。

INPUT 入力ジャック (HIGH LOW)

電気ギターは一般的にHIGH端子に接続しま

す。電気ギターが高レベル出力タイプの時などは、LOW端子に接続します。

- LOW端子はHIGH端子にくらべ音がソフトになり、また音量も小さくなります。
- シンセサイザーなどの電子楽器は、LOW端子に接続します。

A B 入力系切り換えスイッチ A(■), B(■)

ボタンを押すとA,Bの入力系が切り換わり、選択された入力系のインジケーターが点灯します。

A系列はノーマル入力で、B系列はディスト

ーションサウンドをつくることができます。

- フットスイッチを使用すると、このスイッチは働かず、フットスイッチによって切り換えられます。

A系列入力コントロール

VOLUME PULL FAT (ボリュームフルファット)

A系列の音量をコントロールします。つまみを手前に引くと(PULL FAT)中域の強調された音色になります。

B系列入力コントロール

GAIN/PULL FAT (ゲイン/プルファット)
 MASTER VOLUME (マスターボリューム)
 ディストーション (オーバードライブ) サ
 ウンドをつくる時、B系列の入力系を使用し
 ます。

音量はGAIN, MASTER VOLUMEの両
 方によってコントロールされますが、GAIN
 ツマミを時計方向に回すとディストーション
 効果が現われ、より時計方向に回すほど、効
 果は強くなります。MASTER VOLUMEは
 GAINを調整したあとに音量をコントロール
 します。

STONE CONTROL

TREBLE/PULL BRIGHT (トレブル/フ
 ルブライイト)

MIDDLE (ミドル), BASS (バス)

高域(TREBLE)、中域(MIDDLE)及び低
 域(BASS)の音色をつくるつまみです。それ
 ぞれ中心位置(5)にある時標準的な音色となり
 時計方向(10)に回すほどそれぞれの音域が強調
 された音色になります。

また、TREBLE ツマミを手前に引くと、
 (PULL BRIGHT) 高域が更に強調された
 明るい音色となります。

- PULL BRIGHTの効果はVOLUMEつまみ
 (またはGAINつまみ)の設定位置によって異
 なり、つまみを最大にした時、効果は無くなり
 ます。

PARAMETRIC EQUALIZER

(パラメトリックイコライザー)

■LEVEL (レベル)

- 強調または減衰するレベルをコントロール
 します。つまみが中央(クリックストップ位
 置: 0)にあるときはQ, FREQUENCY ツ
 マミがどこにあっても、効果は現われません。

つまみを時計方向(+に)回わすと、FREQUE-
 NCYつまみで設定した周波数にピークを生じ、
 その音域が強調されます。反時計方向に回わ
 すとディップが生じ、その音域が減衰します。

■Q (キュー)

- ピーク(∧)またはディップ(∨)の鋭さをコン
 トロールします。時計方向に回すほど鋭い特
 性となり、効果の及ぼす音域が狭くなります。

■FREQUENCY (フリケンシー)

- 効果の及ぼす周波数を決めます。表示はピ
 ークまたはディップの中心周波数を表わしま
 す。

■REVERB (リバーブ)

- リバーブレーション (残響) 効果の強さを
 コントロールします。時計方向に回すほど強
 い効果が得られます。
- フットスイッチにより REVERB のリモ
 ートコントロールができます。

●ご注意

- 電気ギターとアンプを接続する際は必ずギタ
 ー側を先に接続し、その後アンプ側を接続す
 るようにしてください。逆の接続をしますと
 スピーカをいためる原因となります。

- 接続コードの脱着時は必ずボリュームを絞っ
 てください。

- AC OUTLETは250Wまで供給できます。こ
 れ以上の消費電力の機器のご利用は、おやめ
 ください。

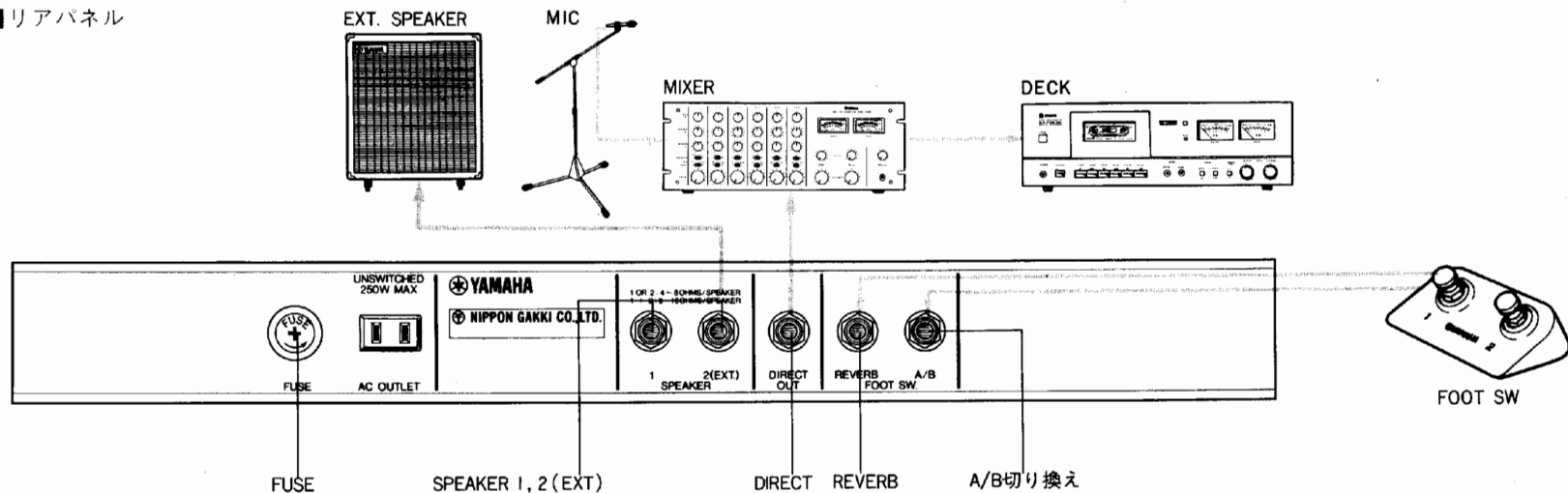
- 物をおつけたり、落したりの乱暴な取り扱い
 は部品に悪い影響を与え、性能を劣化させま
 すので、ていねいにお取り扱いください。

- 本機は、国内電源電圧 AC100V50/60Hz でお
 使いください。

- この取扱説明書をお読みになった後は、保証
 書とともに大切に保管してください。

●リアパネル・接続図

■リアパネル



●FUSE

ヒューズを交換する場合は、必ず電源プラグをコンセントから引き抜いたのち同じ定格のものとの交換してください。なお、ご使用中におけるヒューズの断線はご使用上のミスのほか、故障などの原因によるものですから、お買上げ店もしくは最寄りのヤマハサービスステーションにご相談ください。

●SPEAKER 1, 2 (EXT)

ジャック1には内蔵スピーカーが接続されています。また、内蔵スピーカーだけでなく外部スピーカーを使用する場合には、ジャック2またはジャック1に接続できます。スピーカーを並列接続（内部+外部）、（外部+外部）するときには、合成インピーダンスが4～8Ωになるようにしてください。誤まった接続をすると故障などの原因となります。詳しくは最寄りのヤマハサービスステーションにご相談ください。

●DIRECT OUT

ラインレベルのモニター出力端子です。ミキサー、テープデッキ等に接続するときに使用します。信号はフロントパネルの全てのツマミ等によってコントロールされメインアンプを通ったものが出力されます。

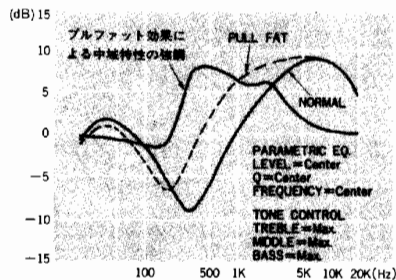
●FOOT SW

フットスイッチを接続する端子です。フットスイッチにより、A/B入力系の切り換え、リバーブのON/OFFのリモートコントロールができます。

●PULL FAT

■PULL FAT

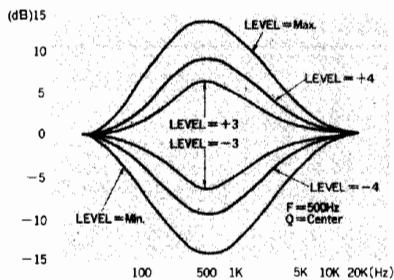
PULL FATによって、中音域の特性だけが強調されることを表しています。



●PARAMETRIC EQUALIZER

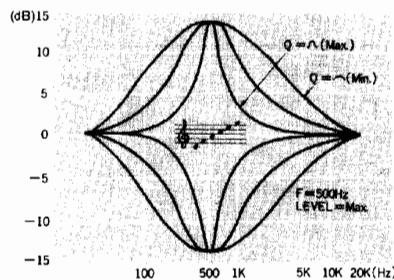
■LEVEL

Q, FREQUENCYを一定にして、LEVELを変えた時の特性です。LEVELが中央の時、パラメトリックイコライザーは働きません。



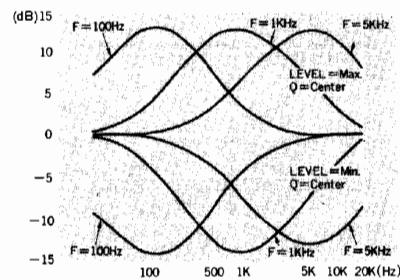
■Q

LEVEL, FREQUENCYを一定にして、Qを変えた時の特性です。横軸、周波数を音符で表現しています。

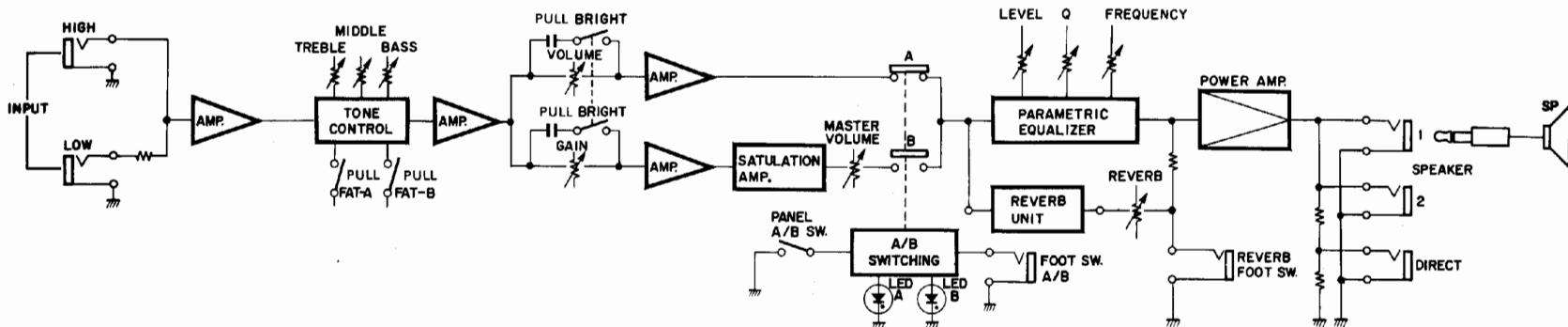


■FREQUENCY

Q, LEVELを一定にして、FREQUENCYを変えた時の特性です。



●ブロックダイアグラム



●仕様

定格出力	100W (1KHz, 8 Ω THD 10%)	
入力端子	HIGH×1 LOW×1	
出力端子	DIRECT OUT (−20dB, 600 Ω) SP 1, 2(EXT.) FOOT SW (A/B, REVERB)	
スピーカー	A3107 30cm×1 8 Ω	
ゲイン (1KHz 4 or 8 Ω)	A 系列	B 系列
	HIGH : 70dB LOW : 58dB	HIGH : 84dB LOW : 72dB
ノイズ	−45dB (ALL KNOB MIN.) −32dB (VOL. & TONE MAX.)	−45dB (ALL KNOB MIN.) −42dB (MASTER MAX.) −20dB (GAIN, MASTER, & TONE MAX.)

コントロール	A 系列	B 系列
	VOLUME/PULL FAT	GAIN/PULL FAT MASTER VOLUME
リバーブ	TREBLE/PULL BRIGHT, MIDDLE, BASS PARAMETRIC EQUALIZER LEVEL, Q, FREQUENCY REVERB, A/B SWITCH	
	スプリングタイプ	
消費電力	90W	
定格電源	AC 100V 50/60Hz	
寸法	530(幅)×450(高さ)×270(奥行)mm	
重量	23kg	
付属品	フットスイッチ, ビニールカバー	

※仕様は予告なく変更することがございます。

●サービスのご依頼について

■保証

ヤマハギターアンプの保証は、ご購入日より(保証書による)満1ヶ年(現金・クレジット・月賦等による区別はございません。又保証は国内のみ有効)と致します。

■保証書

ヤマハギターアンプには、保証書が添付されておりますので販売店の店頭にて諸事項をご記入の上、大切に保管ください。

■アフターサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂たく場合もあります。又お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは日本楽器電音サービスステーションにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

■保証期間後のサービス

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお修理可能期間は10年、また補修用性能部品(製品本来の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は8年となっています。そのほかご不明の点などございましたらお客様ご相談窓口までお問い合わせください。

日本楽器製造株式会社

本社・工場 〒430 浜松市中区町1-10
TEL. 0534(65)1111

東京支店 〒104 東京都中央区銀座7-11-3/矢島ビル3F
TEL. 03(572)8582

銀座店 〒104 東京都中央区銀座7-9-14
TEL. 03(572)3131

渋谷店 〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-7/新大塚ビル内
TEL. 03(486)5441

池袋店 〒171 東京都豊島区南池袋1-24-2
TEL. 03(981)5271

池袋東シヨップ 〒170 東京都豊島区東池袋1-30-1/
プラスウィップスポーツガーデン内
TEL. 03(983)9914

ヤマハ 吉原寺ビダール
〒180 武蔵野市吉祥寺本町1-10-1/いなりやビル内
TEL. 0422(21)7182

横浜店 〒220 横浜市中区本町6-61-1
TEL. 045(311)1201

千葉店 〒260 千葉市千葉港2-1
千葉中央コミュニティーセンター
TEL. 0472(47)6613

新潟店 〒950 新潟市万代1-4-8/シルバークボウルビル
TEL. 0252(43)4311

大阪支店 〒542 大阪市南区朱古橋通4丁目8/
心斎橋プラザビル東館(8・9階)
TEL. 06(261)1111

心斎橋店 〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39
TEL. 06(211)8331

神戸店 〒651 神戸市中央区元町通2-7-3
TEL. 078(321)1191

高松店 〒760 高松市丸亀町8-7
TEL. 0878(51)7777

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL. 052(201)5141

名古屋店 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL. 052(201)5154

九州支店 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL. 092(472)2151

福岡店 〒810 福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内
TEL. 092(721)7821

小倉店 〒802 北九州市小倉北区魚町1-1-1
TEL. 093(531)4331

北海道支店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター
TEL. 011(512)6111

札幌店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター
TEL. 011(512)6124

仙台支店 〒980 仙台市大町2-2-10
TEL. 0222(22)6141

仙台店 〒980 仙台市一番町2-6-5
TEL. 022(27)8516

広島支店 〒730 広島市中区基町13-13/平和生命広島ビル内
TEL. 082(221)4122

広島店 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL. 082(248)4511

浜松支店 〒430 浜松市駿河町321-6
TEL. 0534(54)4116

浜松店 〒430 浜松市駿河町321-6
TEL. 0534(54)4077

YAMAHA 電気音響製品サービス拠点

お客様ご相談窓口
東京電音サービスセンター 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(亀名館ビル4F)
TEL. (03) 255-2241

東京ステレオサービスステーション 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(亀名館ビル4F)
TEL. (03) 255-2241

東京電音サービスステーション 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(亀名館ビル4F)
TEL. (03) 255-2241

横浜電音サービスステーション 〒221 横浜市中区本町6-61-1
TEL. (045) 212-2223

新潟電音サービスステーション 〒950 新潟市万代1-4-8
(シルバークボウルビルヤマハ新潟センター2F)
TEL. (0252) 43-4321

大阪電音サービスセンター 〒565 吹田市新箕原下1-16(千里丘センター内)
TEL. (06) 877-5262

大阪ステレオサービスステーション 〒565 吹田市新箕原下1-16(千里丘センター内)
TEL. (06) 877-5262

大阪電音サービスステーション 〒565 吹田市新箕原下1-16(千里丘センター内)
TEL. (06) 877-5262

西国電音サービスステーション 〒760 高松市丸亀町8-7
TEL. (0878) 51-7777・22-3045

名古屋電音サービスセンター 〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7
TEL. (052) 231-2432

名古屋電音サービスステーション 〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7
TEL. (052) 231-2432

浜松電音サービスステーション 〒430 浜松市東浄場2-14-1
TEL. (0534) 56-9211

九州電音サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL. (092) 472-2134

九州電音サービスステーション 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL. (092) 472-2134

広島電音サービスステーション 〒731 01 広島市安佐南区紙屋町西原2205-3
TEL. (082) 874-3187

北海道電音サービスセンター 〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地
TEL. (011) 781-3621

北海道電音サービスステーション 〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地
TEL. (011) 781-3621

仙台電音サービスセンター 〒980 仙台市大町2丁目2-10
(佐佐木生命仙台青葉通りビル)
TEL. (0222) 22-6144

仙台電音サービスステーション 〒983 仙台市加町5丁目7
(仙台加町共同配送センター内)
TEL. (0222) 96-0249

お預り品修理拠点

東京電音サービスステーション 〒171 東京都練馬区高野台2-3-10
TEL. (03) 904-4901

大阪電音サービスステーション 〒565 吹田市新箕原下1-16(千里丘センター内)
TEL. (06) 877-5262

名古屋電音サービスステーション 〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7
TEL. (052) 231-7896

九州電音サービスステーション 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL. (092) 472-2134

北海道電音サービスステーション 〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地
TEL. (011) 781-3621

仙台電音サービスステーション 〒983 仙台市加町5丁目7
(仙台加町共同配送センター内)
TEL. (0222) 96-0249

本社
宮城技術課電音サービスセンター 〒430 浜松市中区町1-10
TEL. (0534) 65-1111